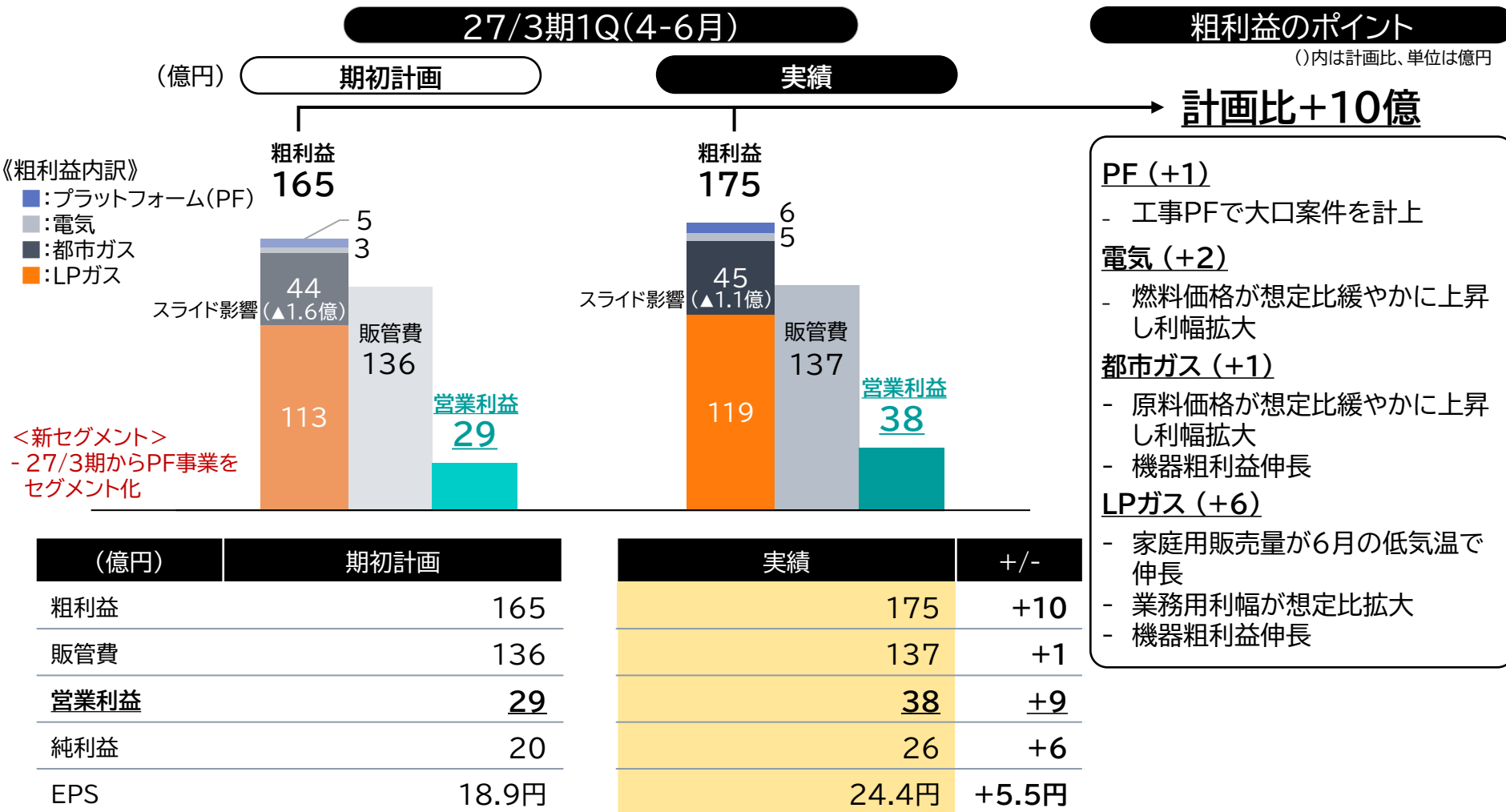


2027年3月期 第1四半期 決算説明資料(2026年7月30日)



計画比① 27/3期1Q実績

粗利益はLPガス利幅・販売量ともに伸長し計画を上回り(計画比+10億)、販管費は概ね計画並にコントロール(同+1億)。営業利益は計画を超過(同+9億)。



足元の原料価格想定、下期気温予想等を織り込み、引き続き755億円の粗利益を想定。
通期営業利益は200億円を据え置く。

27/3期

粗利益計画のポイント

()内は計画比、単位は億円

(億円)

期初計画

最新計画

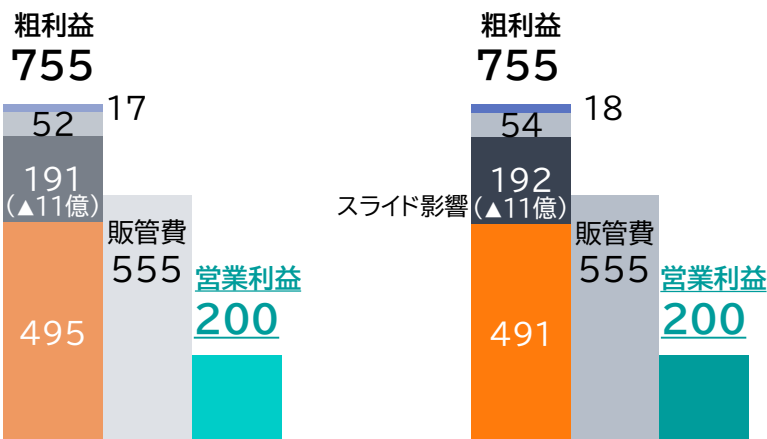
計画比±0億

《粗利益内訳》

■:PF
■:電気
■:都市ガス
■:LPガス

スライド影響

スライド影響



PF (+1)

- 2-4Qは据え置く。1Q上振れ分を通期に上乗せ

電気 (+2)

- 2-4Qは据え置く。1Q上振れ分を通期に上乗せ

都市ガス (+1)

- 2-4Qは販売量減を利幅良化で補い、据え置く。1Q上振れ分を通期に上乗せ

LPガス (▲4)

- 原料価格想定の見直しで業務用利幅縮小
- 気温想定見直しで販売量減

<新セグメント>

- 27/3期からPF事業をセグメント化

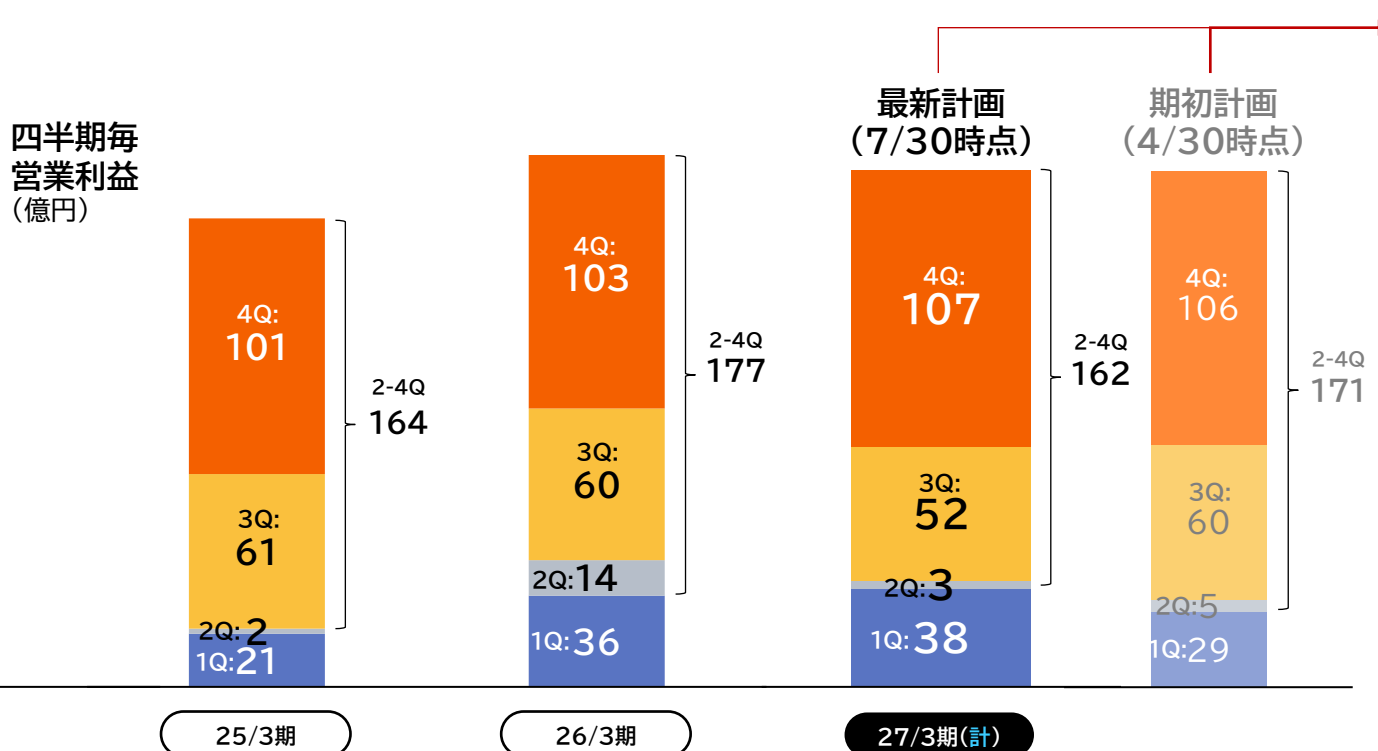
(億円)	期初計画	最新計画	+/-
粗利益	755	755	0
販管費	555	555	0
営業利益	200	200	0
純利益	140	140	0
EPS	132.3円	132.3円	0円

利益計画詳細	期初計画	最新計画
LPガス家庭用利幅 (円/kg)	232	234
LPガス原料(CP)平均価格 (US\$/ト)	720	650
為替平均 (円/US\$)	160	160
電気利幅 (円/kWh)	2.9	3.1
LNG CIF平均価格 (千円/ト)	141	131
平均気温 (℃)	17.0	17.3

計画比③ 27/3期営業利益見通し

1Q営業利益は計画を上回ったが、足元の原料価格想定、下期気温予想等を織り込み、引き続き200億円の営業利益を想定(計画の変更なし)。

	25/3期(実)	26/3期(実)	27/3期(計)
営業利益 (億円)	185	213	200



◆ 期初計画との比較

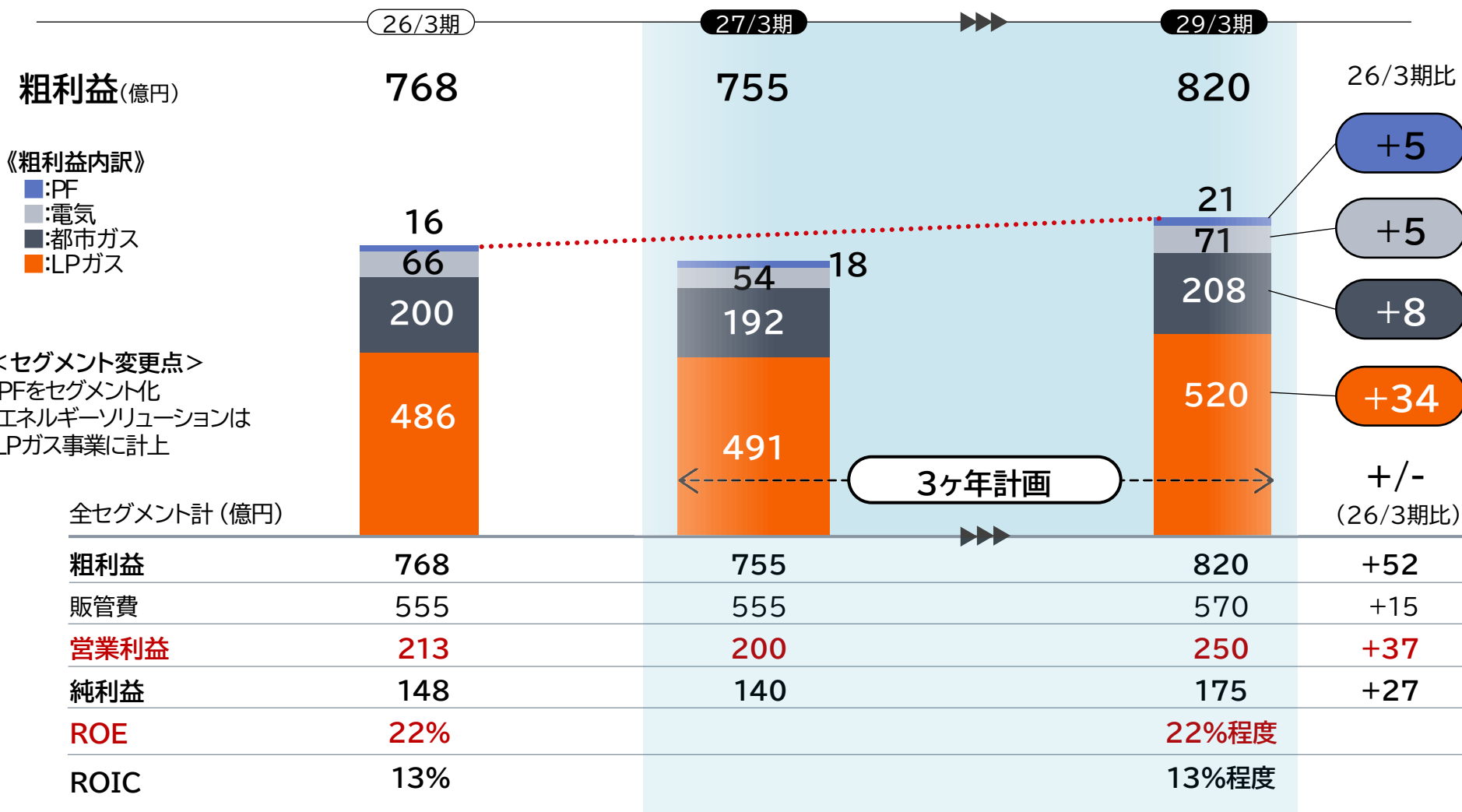
2-4Q(期初計画): 171億
2-4Q(最新計画): 162億
▲9億

<内訳>

粗利益	▲10億
: LPガス 家庭用	▲4億
: 業務用	▲6億
: 電気	0億
: 都市ガス	0億
: PF	0億
販管費	▲1億
: その他	▲1億

計画比④ 3ヶ年計画(27/3~29/3期) 利益計画の詳細

オーガニック成長を通じて、29/3期に営業利益250億円を計画。ROE22%程度は、資本効率性に対するコミットメント。着実な利益成長によりROEを向上。



1Q販管費は概ね計画通り。インフレや資機材の戦略的先行手配に伴う費用増を、営業効率化や器材の最適利用等の取り組みにより吸収。通期計画555億円は据え置く。

*実数の単位未満は端数処理。進捗率は27/3期計画と実績を億円表示処理後に算出

販管費明細 (億円)	27/3期		進捗 *対通期計	ポイント	26/3期	
	通期計画	1Q実			通期実	1Q実
1. 人件費	155	36	23%	・ ベースアップ(昇給率4.0%)等の人的資本投資を継続しつつ、計画内でコントロール	151	35
2. 減価償却費 (*i)	82	19	23%		82	20
3. 顧客獲得費用 (*ii)	48	11	23%	・ 計画比▲1億、顧客獲得時の営業現場のオペレーション効率化により獲得単価を低減	48	12
4. IT費用	41	11	27%		44	12
5. 手数料等 (*iii)	50	12	24%	・ 計画比▲1億、2Q以降に計上ずれ込む	50	13
6. ガス関連機材等	32	11	34%	・ 計画比+3億、調達環境を意識した先行手配の影響	35	8
7. ガスボンベ運搬費	35	9	26%		33	8
8. 修繕費用 (*iv)	22	5	23%		24	4
9. 租税公課・事業税	21	6	29%		21	5
10. 通信費 (*v)	12	3	25%		11	3
11. 広告宣伝費	12	3	25%		10	2
12. 旅費交通費	7	2	29%		7	2
13. コールセンター	5	1	20%		5	1
14. その他	33	8	24%		34	9
合計	555	137	25%		555	134

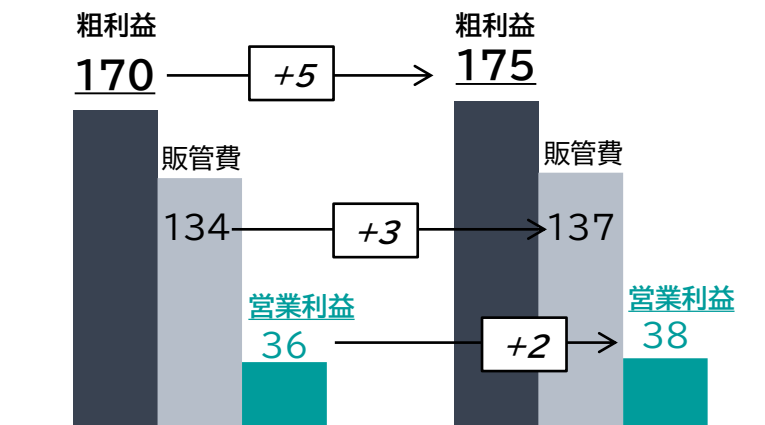
(*i) IT関連の償却は「4. IT費用」、のれんの償却は「14. その他」に計上 (*ii) 顧客獲得費用はLPガス、都市ガス、電気に係る営業費用とサービス品の合計
(*iii) 24/3期から「保安・検針費等」を「5. 手数料等」に統合 (*iv) ボンベや機材等の修繕費、ボンベ検査費用 (*v) 顧客とのコミュニケーション費用、スペース党通信費用

粗利益はLP利幅の拡大により増、PFも伸長。電気は利幅縮小で減。顧客基盤は着実に拡大。販管費は増加を抑制、人件費やインフレに伴うコスト増を顧客獲得の効率化等で吸収。営業利益は増益。

粗利益/販管費/営業利益 (億円)

26/3期 1Q(4-6月)

27/3期 1Q(4-6月)



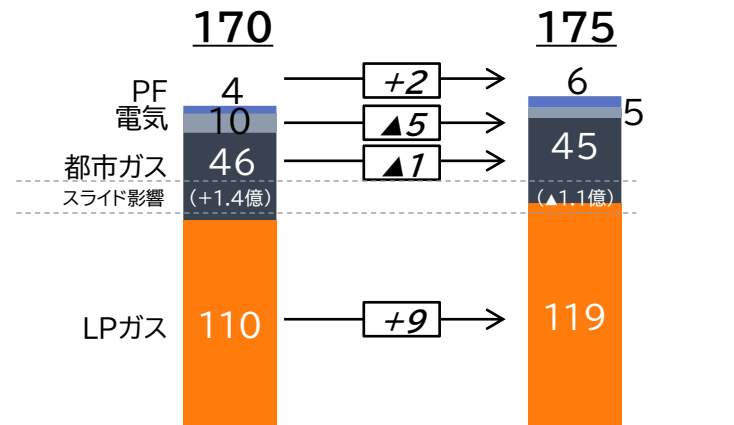
	26/3期1Q	27/3期1Q
純利益 (億円)	26	26
EPS	24.1円	24.4円

粗利益内訳 (億円)

*実数の単位未満は端数処理
*新セグメントに組み替えて開示

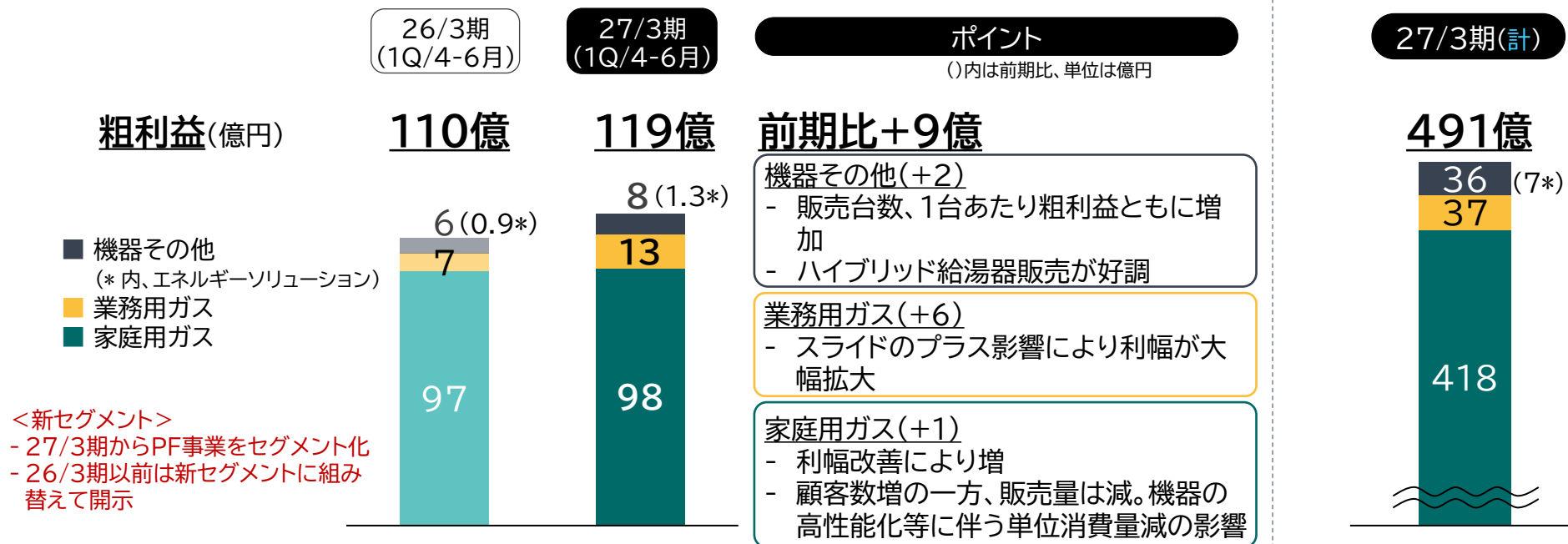
26/3期 1Q(4-6月)

27/3期 1Q(4-6月)



販売量	26/3期1Q	27/3期1Q
LPガス (千ト)	68	67
都市ガス (千ト)	77	76
電気 (GWh)	322	292

粗利益は増益。業務用利幅が拡大、原料価格の動きがプラスに作用。機器粗利益は、販売台数・1台あたり粗利益増で伸長。通期計画は原料価格と気温の想定を更新し、495→491億円に見直す。

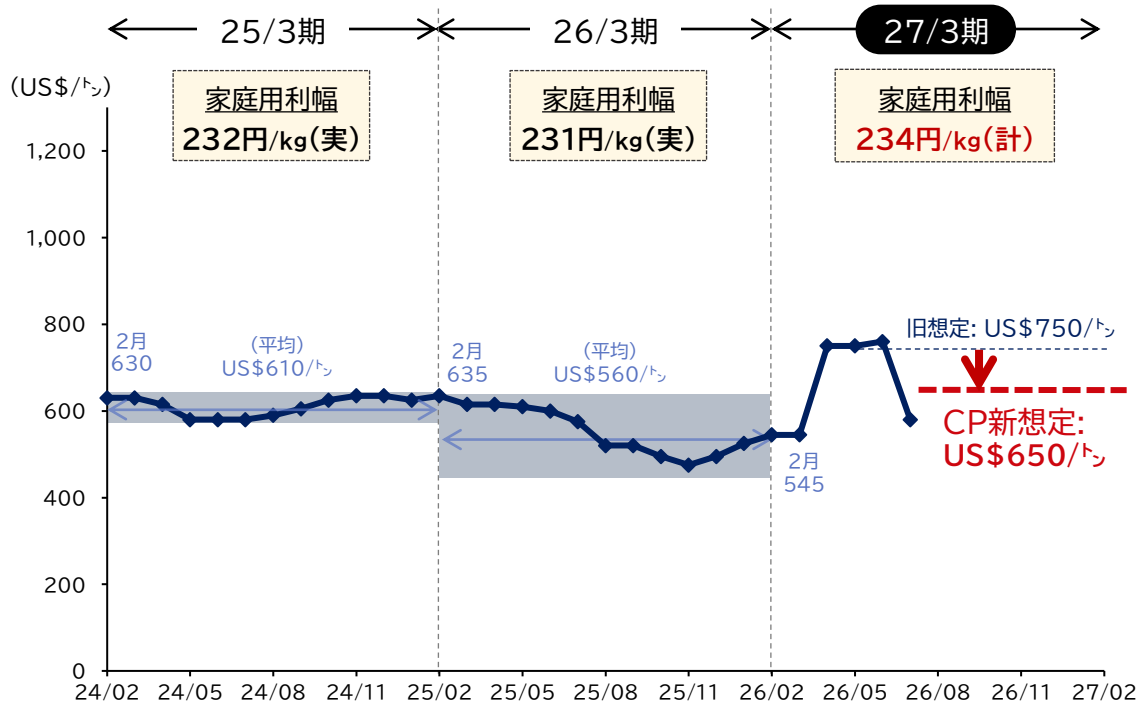


	26/3期 1Q	27/3期 1Q	+/-		27/3期(計)
利幅 (円/kg) (家庭用・業務用)	153円	166円	+13円	利幅 (円/kg) (家庭用・業務用)	160円
ガス販売量 (千ト)	家庭用	41	▲1	ガス販売量 家庭用	179
	業務用	26	0	(千ト) 業務用	106
顧客数 (千件)	1,036	1,057	+21	顧客数 (千件)	1,081
ハイブリッド給湯器 (千台)	1.5	1.8	+0.3	ハイブリッド給湯器 (千台)	8.0

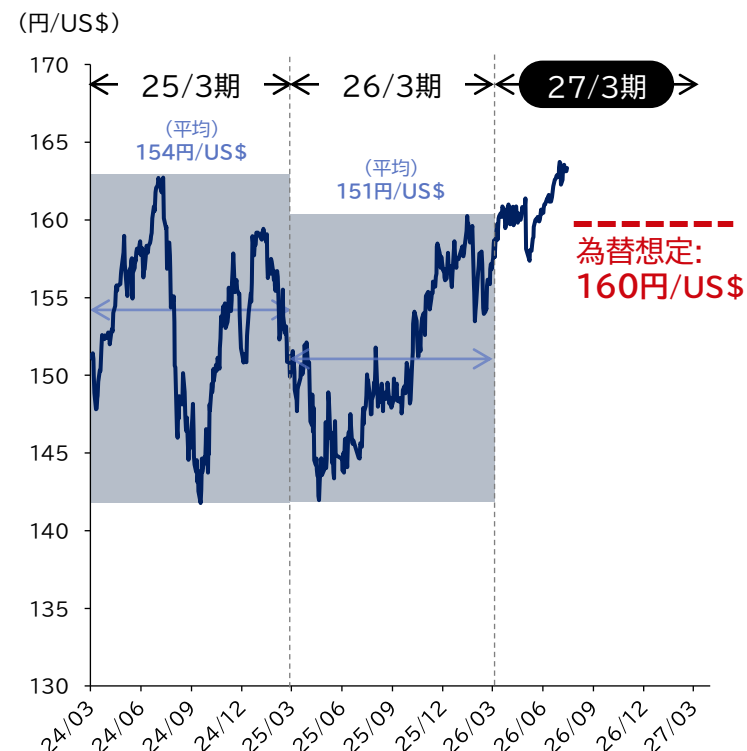
M&A
-0.6千件/7社

26/8月以降は、CPをUS\$750→US\$650/トに見直し、為替は160円/US\$を据え置く。
通期の家庭用利幅は230円/kg程度水準を確保。

LPガス原料価格(CP)の推移



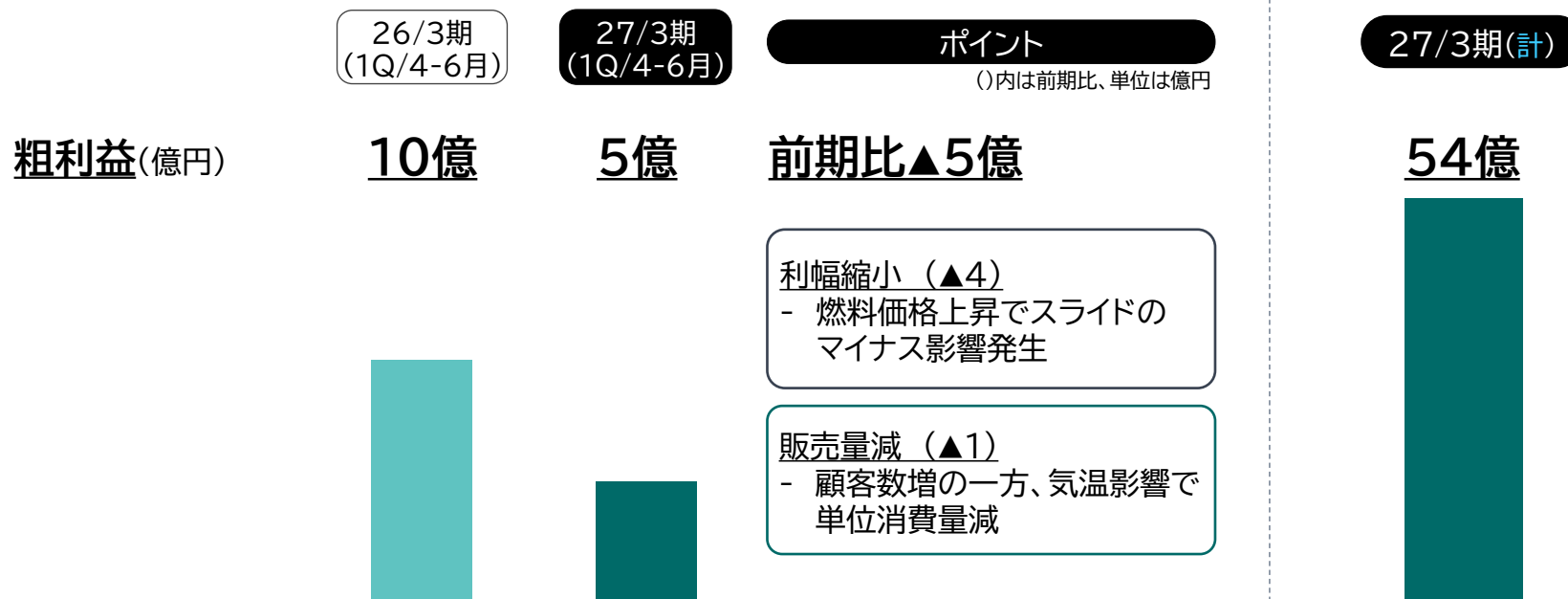
為替相場(TTS)



(US\$/ト)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	620	630	630	615	580	580	580	590	605	625	635	635
2025年	625	635	615	615	610	600	575	520	520	495	475	495
2026年	525	545	545	750	750	760	580					

- *ハイライトは27/3期1Qの原価
- *CPは概ね2～3ヶ月後の原価を構成
- *機動的に適正利幅を確保
(商品の性質上、対象外もあり)

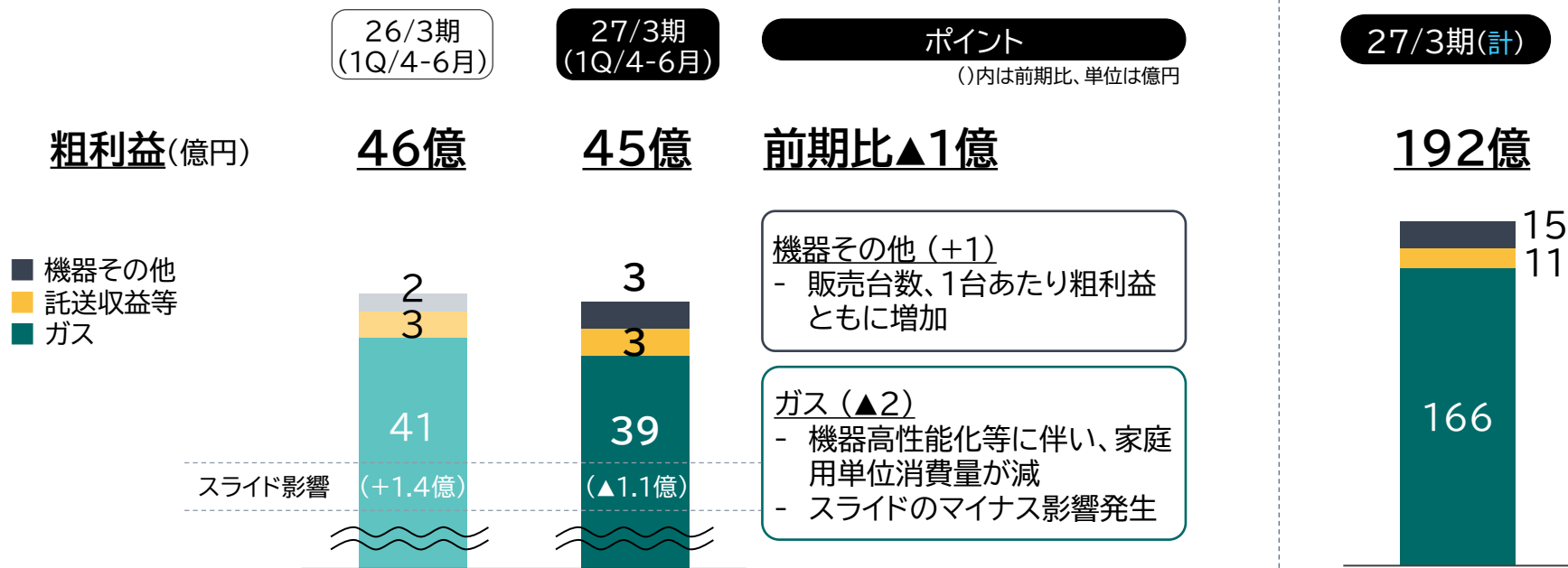
粗利益は利幅縮小等により前期比減益。下期はスライドのマイナス影響少なく利幅は1Q比拡大。契約増で販売量増を見込む。通期計画は1Q利幅が想定上回ったことを踏まえ、52→54億円に見直す。



	26/3期 1Q	27/3期 1Q	+/-
利幅 (円/kWh)	3.1円	1.8円	▲1.3円
販売量 (GWh)	322	292	▲30
顧客数 (千件)	389	409	+20
電気セット率	23.9%	24.5%	+0.6%

	27/3期(計)
利幅 (円/kWh)	3.1円
販売量 (GWh)	1,761
顧客数 (千件)	454
電気セット率	26.5%

粗利益は前期比微減。家庭用販売量は減るも、顧客数は安定的に増加(同+19千件)。通期計画は1Q機器粗利益の伸長等を踏まえ191→192億円に見直す。原料価格と気温の想定を更新。



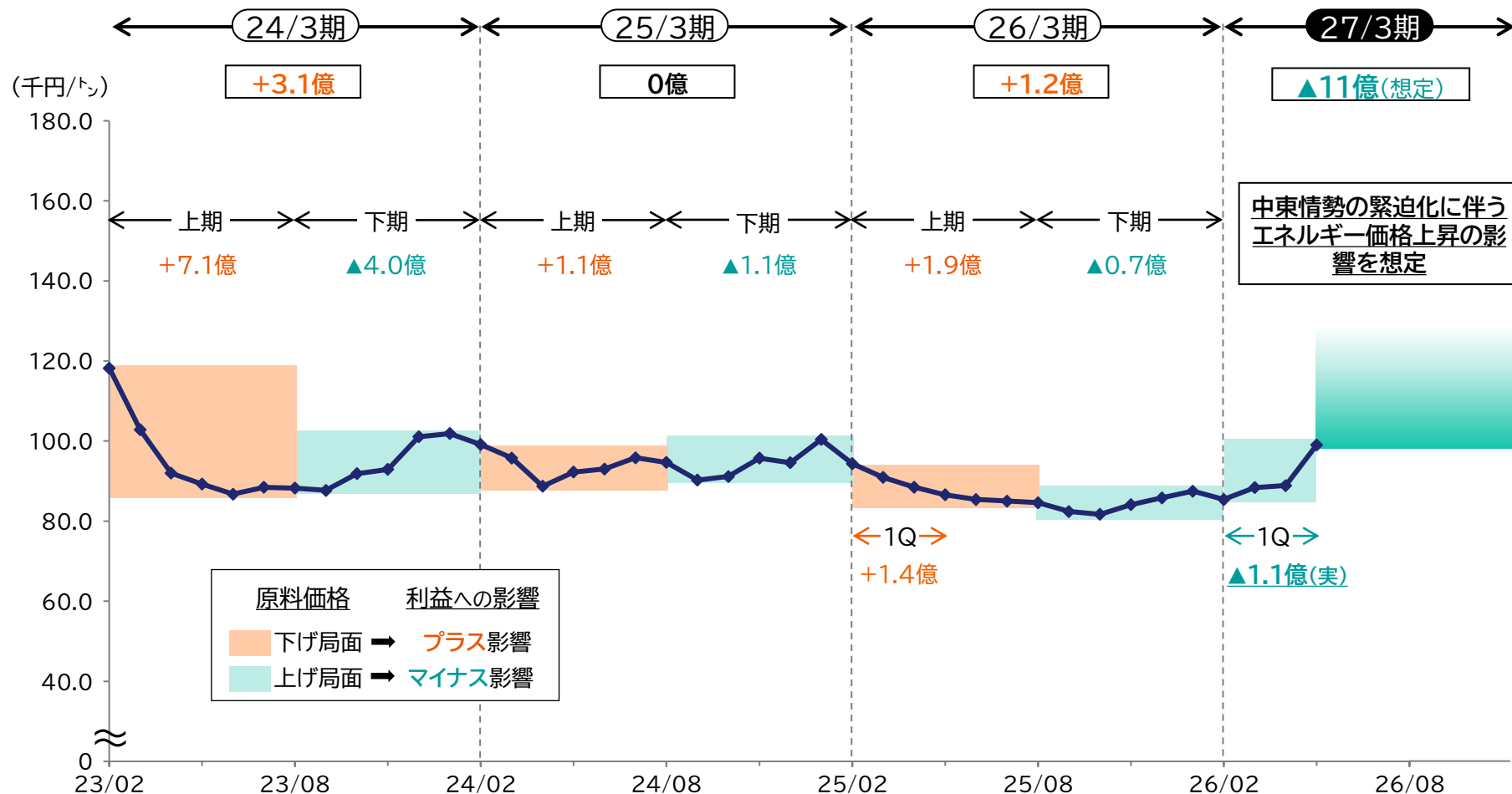
	26/3期 1Q	27/3期 1Q	+/-
スライドタイムラグ (億円)	+1.4	▲1.1	▲2.5
ガス販売量 (千ト)	家庭用	32	▲1
	業務用	44	0
顧客数 (千件)	594	613	+19

		27/3期(計)
スライドタイムラグ (億円)		▲11
ガス販売量 (千ト)	家庭用	147
	業務用	196
顧客数 (千件)		629

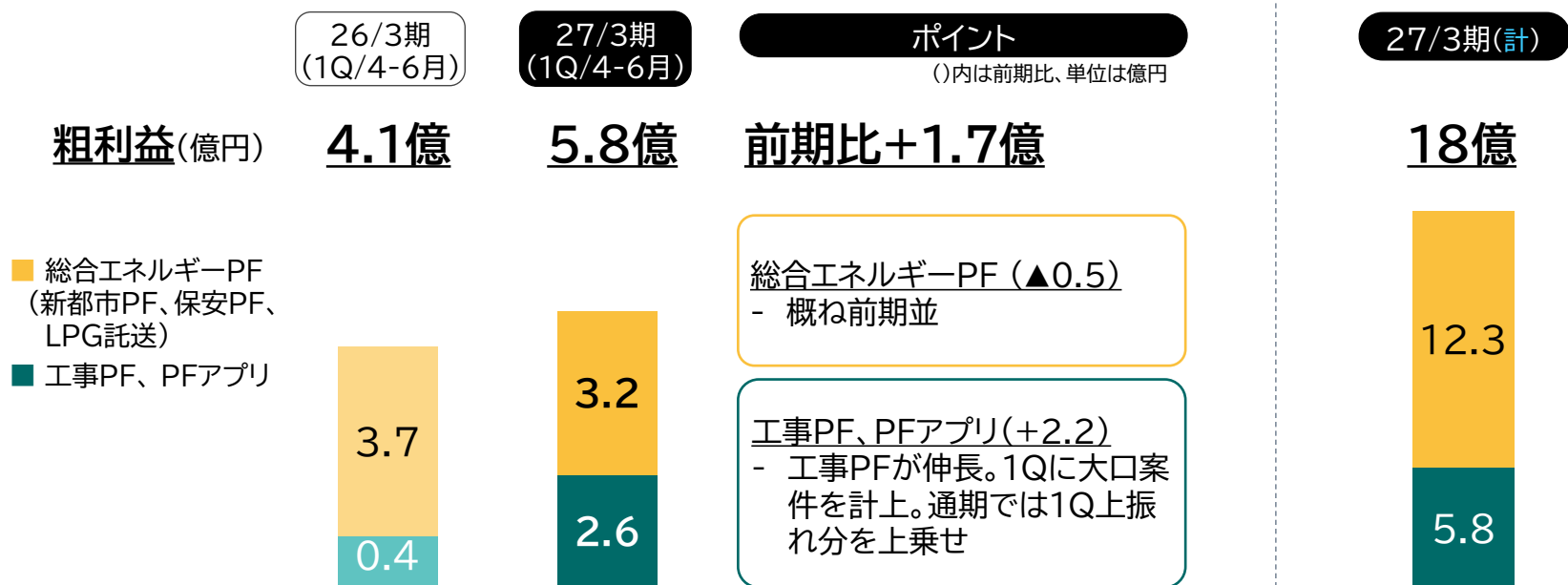
1Q(4-6月)スライド影響は、▲1.1億円。原料価格が想定比緩やかに上昇。通期スライド影響▲11億は変更なし。引き続き中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇を想定。

LNG原料価格(CIF)*の推移

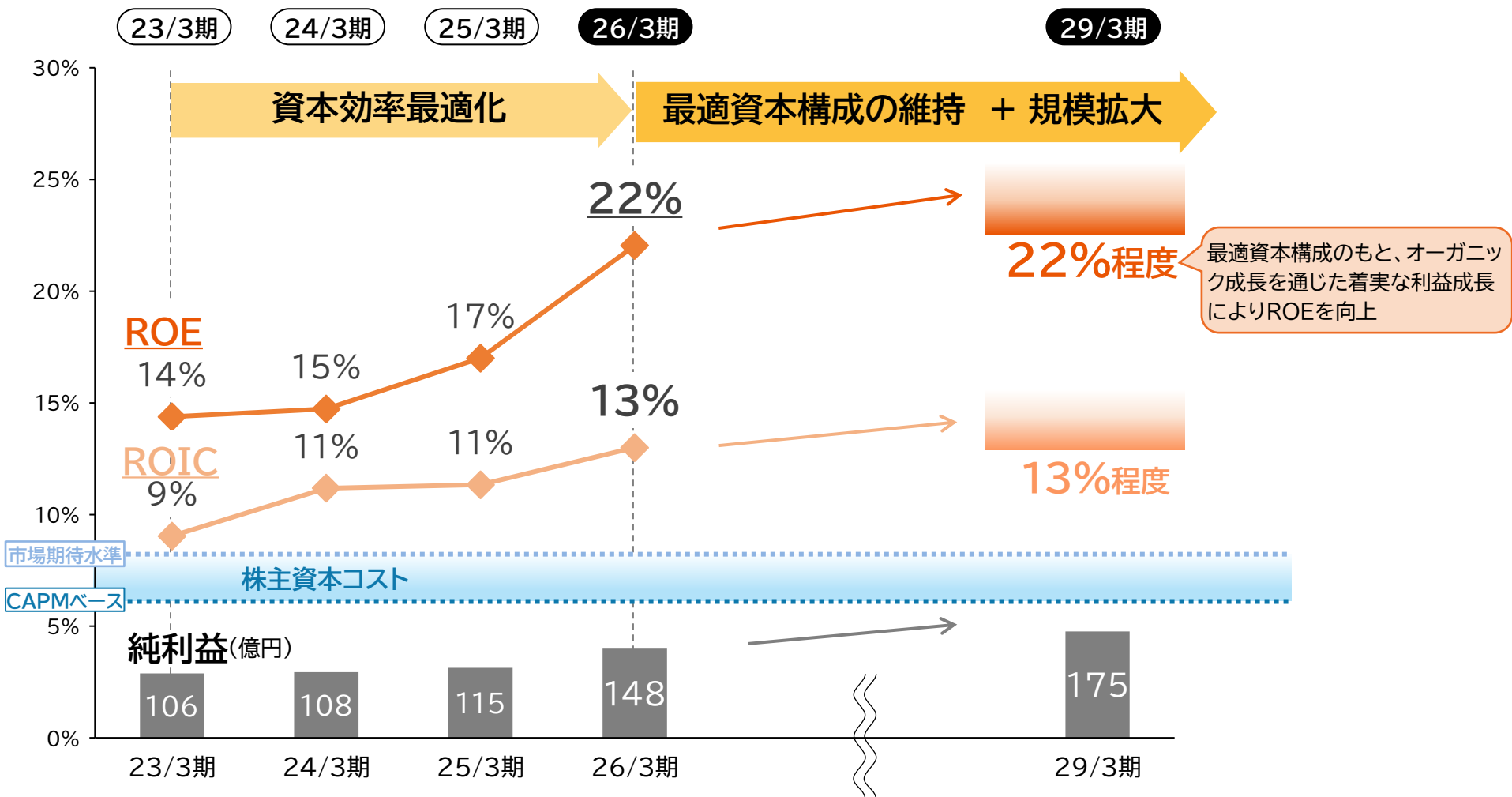
*CIF: 日本に輸入されるLNGの平均価格



粗利益は増益。工事PFが伸長。通期計画は1Q実績を踏まえ17→18億円に見直す。
工事PF・保安PFは深刻な人手不足を背景に需要拡大を見込む。



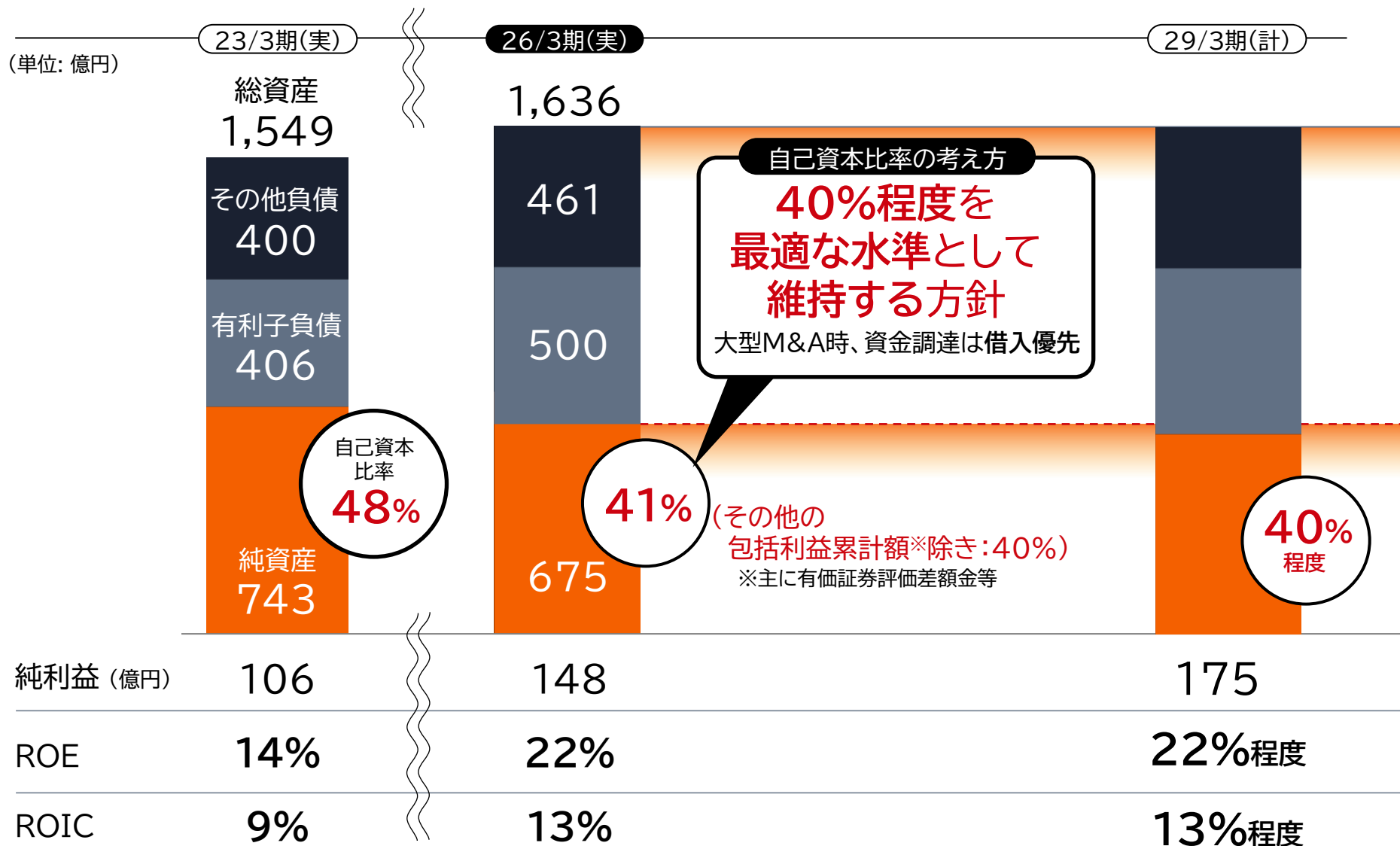
高い資本効率と着実な利益成長を継続し企業価値を高める。『成長投資ガイダンス』にある経済的付加価値(EP)の最大化を重視し、資本コストを上回る成長投資を増やす。



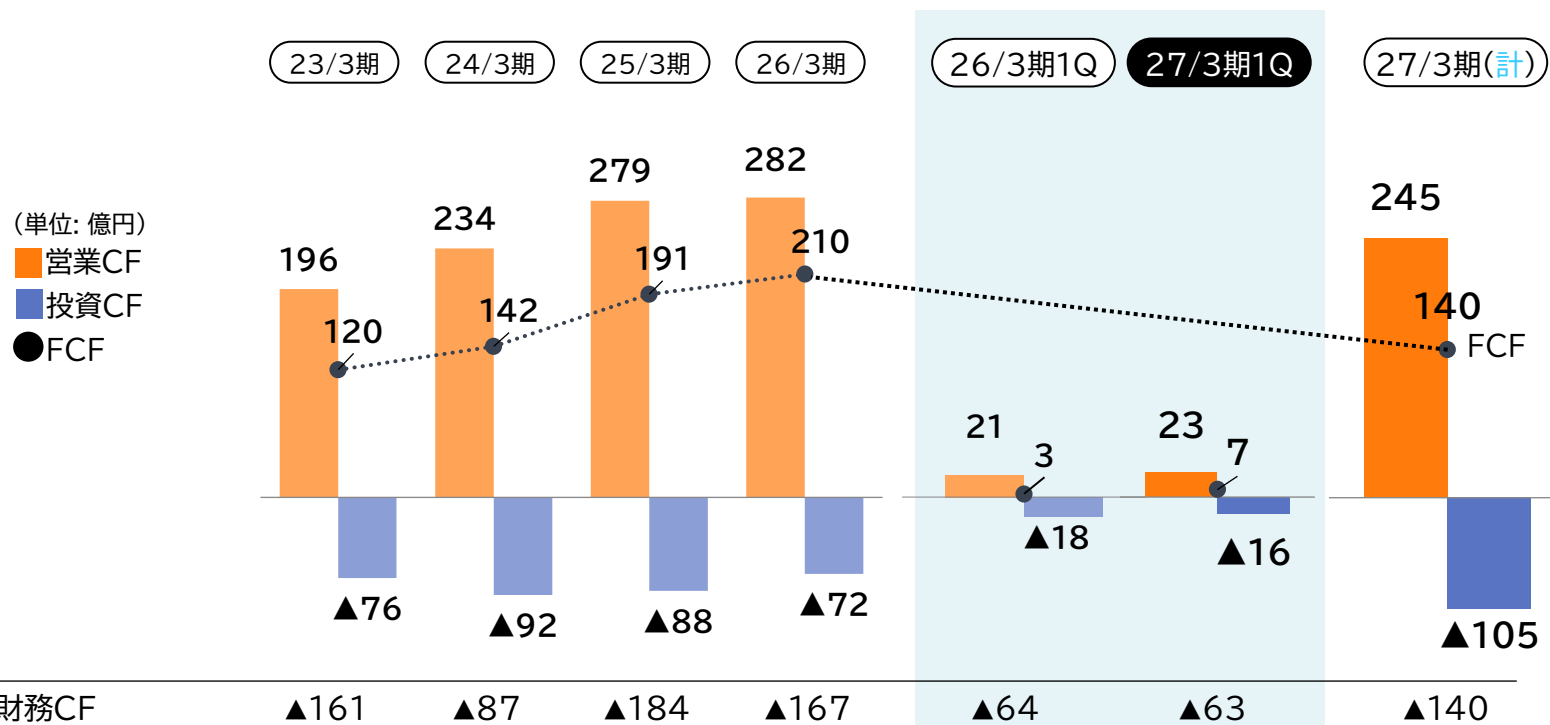
資本政策の詳細は、7/30公開のニチガスの資本戦略をご確認ください。

URL: <https://www.nichigas.co.jp/ir/library/capital>

不必要な株主資本を持たない方針を堅持し、資産規模を大きく増やさず自己資本比率を40%程度に維持。



1Qの営業CFは前期比増。投資の進捗は前期並。LPガスの商圏買収をはじめとする成長投資に積極的に資金を配分し、中長期的な企業価値向上に繋げる。



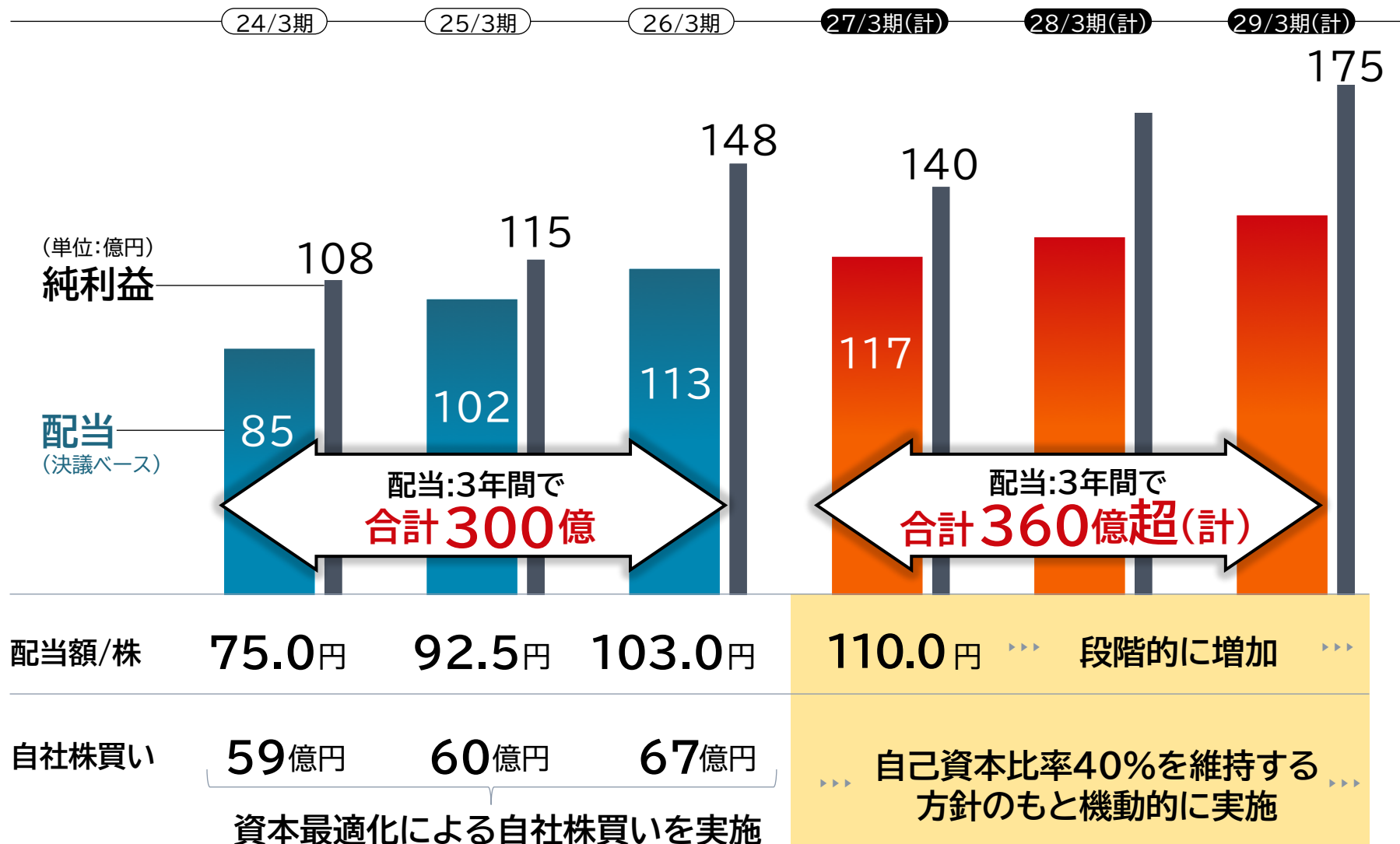
投資内訳 (億円)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	26/3期1Q	27/3期1Q	27/3期(計)
LPG	16	25	24	22	3	4	48 (償却) ▲37
内、LP 商圏買収	3	5	11	5	1	2	内、25 内、▲7
ICT	29	30	21	12	4	2	12 ▲17
都市ガス	33	41	45	44	11	12	45 ▲52
その他 (投資有価証券等)	▲2*	▲5*	▲2*	▲6*	0	▲2	-

(*マイナス表記はキャッシュフローにプラス)

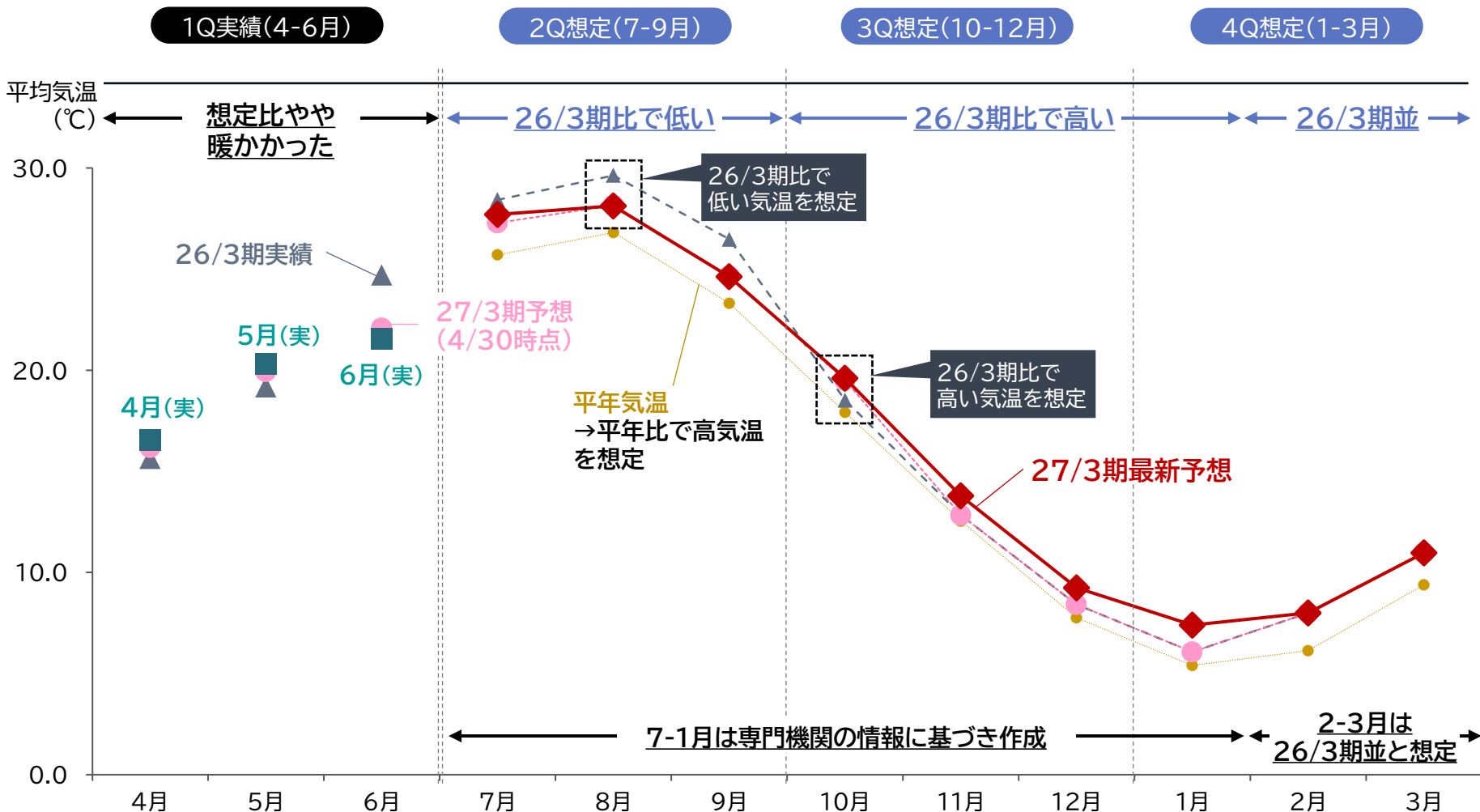
✓LPG: M&A投資は必要に応じて積み増す

✓ICT: 新規投資は漸減、25/3期からは運用フェーズへ

不必要な株主資本を持たない方針のもと、配当に重点を置きながら株主還元を拡充。
 ①大規模投資なく顧客基盤を拡大、②安定的なCF創出により、持続的な高配当を実現。



27/3期1Qは想定比やや暖かかった。7-9月気温予想は期初から大きく変わらず、前期比低い想定。
10-1月気温を、暖かい方向へ見直す。



(*) : 気温実績は東京都の平均気温(参照元: 気象庁ホームページ)

参考資料② セグメント別主要数値

粗利益※1(億円)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期 (期初計画)	27/3期 (最新計画)	27/3期最新計画のポイント	29/3期 (計)
LPガス (機器その他含む)	453	483	483	486	495	491		520
期末顧客数 (千件)	973	997	1,030	1,051	1,081	1,081		1,141
販売量 (千トン) 家庭用/業務用	186/121	179/114	178/109	181/106	181/106	179/106		188/115
単位消費量 (kg/件)	226	215	208	206	200	198	気温想定を暖かい方向へ見直す	197
家庭用利幅 (円/kg)	212	233	232	231	232	234	26/8月以降の原価は、CP:US\$650/トン、為替:160円/US\$を想定	232
ハイブリッド給湯器 累計販売台数 (千台)	2	4	9	16	24	24		40
都市ガス (機器その他含む)	203	205	196	200	191	192		208
期末顧客数 (千件)	667※2	601	590	609	629	629		669
販売量(千トン) 家庭用/業務用計	378	365	344	338	349	343	気温想定を暖かい方向へ見直す	359
スライドタイムラグ (億円)	▲3.1	+3.1	0	+1.2	▲11	▲11	原料価格の上昇を想定	0
電気	30	37	52	66	52	54		71
期末顧客数 (千件)	320	345	381	404	454	454		554
電気セット率 (%)	19.5	21.6	23.5	24.3	26.5	26.5		30.1
販売量 (GWh)	1,297	1,427	1,587	1,723	1,787	1,761	1Q実績を踏まえ見直す	2,166
利幅 (円/kWh)	2.3	2.6	3.3	3.8	2.9	3.1	1Q実績を踏まえ見直す	3.3
プラットフォーム	11	11	14	16	17	18		21

※1:新セグメントに組み替えて開示

※2: 24/1月以降、グループ組織再編における導管分離に伴い、都市ガス顧客数を供給中である小売件数ベースでの開示に変更

原価の変動リスクを極力抑制しながら長期の安定調達を実現。
原料価格の変動による利益への影響を想定し機動的に対応。

LPガス

ニチガスの調達

- ・調達元：元売・商社
⇒約10社から分散して調達

原料価格変動→利益影響

- ・家庭用：価格改定により利益影響少ない
- ・業務用：売価は原料価格に連動、
期ずれ影響発生

期ずれ影響(業務用)

原料価格	利益への影響
下げ局面	⇒ マイナス影響
上げ局面	⇒ プラス影響

主な原料価格指標

- ・CP価格、MB価格、為替

電気

ニチガスの調達

- ・調達元：東京電力グループ
⇒長期契約のもと100%相対で
安定調達

原料価格変動→利益影響

- ・燃料費調整で対応、期ずれ影響発生
- ・短期で利益影響アリ、
長期で利益影響少ない

期ずれ影響

原料価格	利益への影響
下げ局面	⇒ プラス影響
上げ局面	⇒ マイナス影響

主な原料価格指標

- ・CIF価格(LNG、原油、石炭)、為替

都市ガス

ニチガスの調達

- ・調達元：東京電力グループ、他
⇒長期契約で安定調達

原料価格変動→利益影響

- ・原料費調整制度で対応、期ずれ影響発生
- ・短期で利益影響アリ、
長期で利益影響少ない

期ずれ影響

原料価格	利益への影響
下げ局面	⇒ プラス影響
上げ局面	⇒ マイナス影響

主な原料価格指標

- ・CIF価格(LNG)、為替